

金葉祭中止



中止の告知文が貼られた看板 (26日)

本学への脅迫メールで

本学被害届提出

本学は、26・27日に予定されていた金葉祭（こんようさい）の開催を中止した。本学宛てに金葉祭などに対する脅迫のメールが届いたため。また25日に本学内で開催予定だったNHK札幌放送局が行う関連イベントも中止された。

メールは、金葉祭とその関連イベントの出演者、学生、来場者に対して危害を加えるという内容だ。今月18日に偽名とみられる名前で本学に届いた。メールの具体的な内容に関して本学広報課は「プライバシーの観点から答えられない」としている。警察と相談した上で対応しており、本学は23日、被害届を北海道警に出した。

メールは、金葉祭とその関連イベントの出演者、学生、来場者に対して危害を加えるという内容だ。今月18日に偽名とみられる名前で本学に届いた。メールの具体的な内容に関して本学広報課は「プライバシーの観点から答えられない」としている。警察と相談した上で対応しており、本学は23日、被害届を北海道警に出した。

「悔しくて、残念」

実行委コメント

金葉祭中止を受け実行委員会が本紙の取材に対しコメントした。コメントは以下の通り。（全文は個別記事ページで）

委員全員が気持ちも時間も削って準備しており、歴代最高の北大金葉祭になると確信していただけに、来場者の皆さんや今年加わった1年生に、完成したものをお見せできないことが悔しくて、残念でたまりませ



10月号

<編集・発行>

北海道大学新聞

編集部

<URL>

hokudaishinbun.com

(お問い合わせ・情報提供
もこちらから)

次の発行予定は12月

CONTENTS

- ・教員紹介・野口伸教授 ……2面
- ・ニュースDIGEST ……2面
- ・どうする? キャリア(就職特集) ……3面
- ・10月のクラーク大サーカス ……3面

医学部が100周年

式典を実施

本学医学部の創立100周年記念式典が12日、京王プラザホテル札幌で開かれた。本学総長職務代理、医学部長をはじめ道知事や札幌市長など約180人の関係者が出席して大きな節目を祝った。

本学医学部は1919年、北海道帝国大学医学部として設置。本学では農学部に次ぐ長い歴史を持ち、これまでの卒業生数は9044人に上る。吉岡弘医学部長は式典で「今後も不断の努力に傾注し、日本にとど

また、歴史が浅いながらも、毎年恒例のイベントとして作り上げていたものが途切れてしまったことにやるせない思いでいっぱいです。一方で、出演者や来場者の方々、委員の安全が第一であるため、中止はやむを得ない判断であるということも理解しており、気持ちのやり場がない状態です。今回の中止が何かの嘘であってくれないか、とまだ完全には受け入れられておりません。

そんな中で、金葉祭を楽しみにしていたという言葉や、委員への労りなど、温かい言葉も多くいただき、ありがたい限りです。

記念館が完成



あいさつする鈴木知事

医学部100周年の記念事業として工事が進められていた「医学部百年記念館」写真Ⅱはこのほど完成した。記念館は会議からコンサートまで幅広く利用できる。周囲の景観に溶け込むデザインには本学工学系の教員や大学院生らが大きく携わった。



北図書館の向かい側に建設された記念館は地上2階建てで、建物の延べ床面積は約800平方メートル。吹き抜けのホールや大小2つの会議室などを有している。本学に寄贈され、医学部関係者以外でも会議や学会、コンサートなどに利用できる多目的施設だ。4億5000万円ほどの建築費用の全額は卒業生からの寄付により賄われている。落成式が8日行われ、秋田弘俊病院長は「記念館が今後モニュメントとしてだけでなく北大医学部、北大全体の次の100年に向けての大きな基盤となることを祈念する」と話した。

予告

11月中旬

北海道大学新聞編集部から

重大発表

Don't miss it!



※WEB サイトにて発表予定

名和総長側が文科相に上申書

証拠開示求める

本学の名和豊春総長の解任を本学総長選考会議が文部科学相に申し出たことを巡り、名和総長の代理人弁護士は21日、文科相や文科事務次官などあてに「上申書」を提出した。解任の理由となる証拠の開覧や謄写を本学や文科省に求める内容だ。上申書の提出は9月3日にも行ったという。

解任の申し出は本学の総長選考会議が7月に行い、国立大学法人法の規定により最終的な解任の是非は文科相に委ねられている。解任すると文科相が判断した場合、行政手続法に基づき名和総長側への聴聞が行われると文科省は説明している。上申書によると、名和総長は聴聞に応じる姿勢で、証拠の開覧・謄写を求めるのは、この聴聞の前に十分に内容を吟味したうえで反論を準備する必要があるためとしている。また9月3日の上申書に対しての返答は本学と文科省の双方からなかったという。上申書では、総長選考会議での名和総長側の意見陳述の際の問題点も改めて指摘。同会議が証拠の開覧を弁護士に一部制限、名和総長に事実上制限したため、十分な証拠の検討などができなかったとしている。その上で、「不開示とした証拠について同会議議長が名和総長に質問や追及を行うなどした」と主張している。

中国で日本人男性拘束 本学教授が

中国の北京市で9月、40代の日本人男性が中国当局に拘束されたことが分かった。中国国内法違反での拘束とされるが、詳細については分かっていない。産経新聞などによれば男性は本学の教授。在中国日本大使館は本紙の取材に「領事面会を行ったり、家族との連絡をしたりできる限りの支援をしている」と回答した。

北大の「今」を発信中!



ウェブサイト
(THE MAINSTREET)



Twitter
(@HokudaiShinBun)

THE MAINSTREET



Powered by 北海道大学新聞編集部

好奇心が導いた 「スマート農業」第一人者への道

農学研究院・野口伸教授

【教員紹介 第4回】



野口伸教授 (同教授提供)

はじまりは好奇心

遠隔操作で動くトラクターや、農業用ロボットへのビッグデータの活用。こうした最先端の「スマート農業」研究を牽引する第一人者が、本学農学研究院・ビークルロボティクス研究室の野口伸(のぼる)教授だ。パイオニアとして現在の研究に至る過程から、今後の展望までを聞いた。

野口教授は本学農学部・農学研究院の出身。農工学科(現・生物環境工学科)で農業機械や土木関係を学んだ後、院生時代はエンジンやバイオ燃料などについて研究を行った。農業機械の自動化の研究に着手したのは28歳で本学の助手になって以降だ。

研究テーマを変えたのは「出口が明確な研究をしたくて。ここから研究に「リ

い」という動機と、「時間をかけてゆっくりやれる大学らしい研究がしたい」という好奇心からだ。当時は「スマート農業」という言葉もなく、GPSさえも高価で精度の低い時代。他に同様のテーマに取り組んでいる研究者はほとんどおらず、農業機械の「ガラク

タ」を使って研究をしても十分に論文が書けた。研究初期は農業機械の安全性に関する研究など、「好きなことをやっていた」という。徐々に道がひらけたのは30歳を超えた1990年代前半の頃。将来の人手不足を見込み、農業の省人化に注目が集まり始めた時期だ。

野口教授は研究交流員として農林水産省所管の国の機関との共同研究を行うことに。研究テーマについて自ら売り込み、研究の機会を得た。ここから研究に「リ

米国の大学での研究

共同研究に続いて野口教授が取り組んだのは海外の大学での研究だった。当時は若手研究者が他大学で経験を積むこと自体珍しく、知り合いの研究者もいなかったが「ただ単に行ってみたかった」という好奇心も相まって研究場所を自らリサーチ。自分が関心を持っていたテーマに近い研究を行っている若い研究者がおり、かつ日本人がいない環境を論文を頼りに探した。教授が目をつけたのは米国のイリノイ大学。当時はインターネットが普及する前の時代で、誰かのツテを頼ることもなくFAXで連絡を取り、「いいよ」と快諾された。

こうしてイリノイ大学へ「若手研究員の在学研究」として渡り、自動走行技術などの研究に取り組むことに。当時の日本では珍しかった企業との共同研究が米国では既に盛んで、GPSを使ったロボットトラクターや農作物の生育状態を測るセンサーの研究などを行った。米国での研究に至ったことについて、「人と違うことをしたいといけなかった。大学の中でコソコソやっているだけではブレイクスルー(突破口)は見出せなかった」と野口教授。特に若い時に自ら動くことの重要性を知り、海外で仕事をする上でも大きな自信になったという。(続きは個別記事ページで)



米国での研究の一コマ (野口教授提供)

献体を取り違えて納棺

本学歯学部

本学は8月30日、歯学部にて解剖学実習に献体された2体の遺体を実習後、取り違えて納棺していたと発表。今年3月5日に遺体の火葬を執り行った際に遺族から、遺体が故人のものではない可能性があるとの指摘があったという。これは、故人には金属を用いた治療歴が無い一方で、納棺された遺骨には金属片が認められたため。指摘を受け、3月15日付けで大学院歯学研究院に、八若(やわか)保孝歯学部部長ら6人で構成される特別調査委員会を設置。関係者へのヒアリングなどを通じた調査の結果、献体の取り違えがあったことが判明した。

通常、実習後の納棺は、担当教員が同学部の担当職員立会いのもと、献体の識別番号と棺の識別番号を照会した上で実施している。八若歯学部部長はまた「今回の事態を厳粛に受け止め、二度とこのようなことがないよう、再発防止に努めていく」としている。

ニュースDIGEST

9/25 セコマ、災害時に本学の避難所に物資供給へ協定締結

本学とセコマは25日、「災害時における応急生活物資の供給等に関する協定」を結んだ。災害時に本学が独自に設置する避難所などにセコマから食料などを供給できるようにする。セコマが大学と同協定を結ぶのは初めて。

10/1 本学一般入試にインターネット出願を導入

本学は、2020年度一般入試からインターネット出願を全面的に導入することを発表した。出願書類についての詳細と出願の流れは、本学のウェブサイト上の「学生募集要項」にて示されている。

10/1 本学教育学研究院元准教授、カラ給与を私的流用

本学は1日、教育学研究院の厚東(こうとう)芳樹・元准教授が約30万円の研究費を不正に本学に支払わせ、私的流用していたと発表した。厚東元准教授は懲戒処分されているが、本学を退職している。本学は今後、全額の返還を求めていくという。

10/9 英語民間試験、本学は2022年度入試から活用

2021年度入試(20年度実施)から始まる大学入学共通テストで導入される英語民間試験について、本学は4日、22年度入試(21年度実施)から活用すると本学ホームページで明らかにした。共通テストの英語の得点に加点する形で利用する。

10/12 ハルトプライズ地域予選で優勝したアクアモウが学内で活動報告

世界最大級の学生起業コンペ大会「ハルトプライズ」で日本勢初となる地域予選優勝を果たし、英国でのアクセラレータプログラムに出場した本学の学生チームAQUAMOU(アクアモウ)が12日、本学理学部大講堂で報告会を開いた。会では同チームのこれまでの取り組みや今後の事業化への展望の報告に加え、先に実施されたクラウドファンディング(CF)の収支報告などが行われた。

10/14 第57回北水祭開催 台風の影響で開催期間1日のみに

水産学部などが所在する本学函館キャンパスのイベント、第57回北水祭が14日、同キャンパスで開催された(実行委員会主催)。台風19号の影響による日程短縮の中でも多数の地域住民らが来場。模擬店やステージ発表、実行委員会による各種企画などで賑わいを見せた。



北水祭で行われた菓子まきの様子



受け身にならず、 変化を楽しんで

北洋銀行人事部・松浦宗（そう）さん

就職特集「どうする？」
キャリア」では、北洋銀行人事部の松浦宗（そう）さんに話を聞いた。

——北洋銀行への就職を希望する学生の印象は？

北海道に強い愛着を持つてくれている、という印象があります。北大生の中にも道外出身の学生が増加しています。道内出身者は勿論、道外出身者でも北海道に興味や愛着を持ち当行で働くことを希望された学生には、北海道への並々ならぬ強い思いを感じます。当行の強みは、北海道で最大の顧客基盤を持ち、多量で質の高い道内経済の情報を得てお客様に還元できる

——採用したい学生像は？

私の個人的見解も多く含まれていますが、当行としては以下の二つの対応力がある学生を採用したいのだと思います。

一つ目は環境、世の中への対応力です。金融業界は



キャリア

力も、行員には必要です。——選考過程で見たいポイントとは？

新卒採用はポテンシャル採用と言われています。当行の中核を担ってくれる人材を時間を掛け育成していくためのものなので、スキルでなくこれから磨いて何か伸びるものを持っているかを見極めていきます。粘り強さ、創意工夫する能力など何か一つあれば良いと思います。

二つ目はお客様への対応力です。現在、銀行に求められる仕事やニーズは多様化しています。例えば、M & A（企業の合併・買収）を希望するお客様のお手伝いをしたり、海外進出を検討しているお客様には海外の情報提供したり、相続手続きに悩んでいるお客様のお手伝いをする仕事もあります。銀行が提供できる解決策はますます幅広くなっており、それに合わせて日々行員は勉強しています。銀行の仕事はお客様のお金や経営に関する悩みに対して様々な解決策を提供することなのでお客様の求める様々なニーズに応える対応

そのために、これまでの人生経験で何を不得何をしてきたかを面接で深掘りして聞いています。結果も大事ですが、その結果を出すための工夫や苦勞を自分の言葉で話せることの方が大事です。話す内容は部活動やサークル活動に関してではなく、例えば学問に励んだということでも見劣りすることはありません。目的意識があったのか、どのようにに困難を乗り越え、目的をどうやって達成したのか、などについて分厚く語れる話題であることが重要です。そこから学生のポテンシャルを見出しています。

——学生のうちに身に付

けておくとい能力、知識、資格などがありますか？

銀行業務には、資格取得のための勉強や大学で学問として学んだことと直結しない部分も多いです。学生には資格を取得するよりも先に述べたような人間らしさを磨いてほしいです。これからの業界でも求められてくるものだと思います。

なので文系、理系を含め学部は採用に関係ありません。

入行を希望される学生にも行員にも経済、法、商学部出身者が多いですが、それらの学部の人は金融に興味を持つ機会が他学部生より多いためだと思います。

例えば、今はシステム関係の学生を別枠で採用することとはしていませんが、今後そのような人材が必要になつてくる可能性は大にあると思います。理系で学んだことを生かせるのではないかと考えて銀行への就職を希望される学生が増えているので、採用される理

系



20 日に3回目となる「クラーク大サーカス」を開催しました。展示ブースでは鉄道模型や化石の展示を、ステージでは各団体のコラボ企画を実施。来場者は373人となり、盛況でした。



提供：クラーク大サーカス実行委員会
今回から、クラーク大サーカスについて連載します。

系の学生も増えていきます。私も元はその一人です。

——今の学生に足りないと思われる点は？

敢えて言うのであれば、能動性です。今の採用環境は学生優位の売り手市場なので、インターンシップなどのコンテンツを企業が数多く打ち出しています。そのため企業側も悪いのですが、受け身になつて企業のイベントに出ただけで満足してしまっている学生が多いです。各種の就活イベント

トの直後に質問してくる学生が減っているのもそのためかもしれません。

学生には、今何を知り、身に付けるべきかを逆算し、目的をはっきりさせた上で出るイベントを選択してほしいです。目的を持つていない学生とは得られるものが全然違つてくると思っています。目的を意識しているかはイベント中に様子を見ています。積極的に参加していますし、「これを身に付けたい」というパワーを感じるからです。

（続きは個別記事ページで）

北大生協書籍部売上ランキング（9月）

※クラーク店と北部店の合計

一般書はマンガ、教科書を除く

〈一般書〉			
順位	書名	著者名	出版社
1	北海道大学もうひとつのキャンパスマップ	北大ACMプロジェクト	寿郎社
2	ともに生きるための教育学へのレッスン40	北海道大学教育学部	明石書店
3	ブルーノ・ラウールの取説 シリーズ(哲学への扉)	久保明教	月曜社
4	A1に負けない子どもを育てる	新井紀子(数学)	東洋経済新報社
5	さっぽろ野鳥観察汪帖	河井大輔	墨瑞西社
6	ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー	ブレイディみかこ	新潮社
7	時間は存在しない	カルロ・ロヴェッリ	NHK出版
8	世界のエリートが学んでいる教養としての哲学	小川仁志	朝エディタース・グループ
9	1日1ページ、読むだけで身につく世界の教養365	デイヴィッド・S・キダー	文響社
10	考古学からみた北大キャンパスの5000年	江田真毅	中西出版

〈文庫〉			
順位	書名	著者名	出版社
1	屍人荘の殺人	今村昌弘	東京創元社
2	危険なビーナス	東野圭吾	講談社
3	よみがえる変態	星野源	文藝春秋
4	いまさら観たいわれても	米澤穂信	KADOKAWA
5	大学4年間の統計学が10時間でさっと学べる	倉田博史	KADOKAWA

〈新書〉			
順位	書名	著者名	出版社
1	日本語と倫理	飯田隆	NHK出版
2	教育格差	松岡亮二	筑摩書房
3	ゲノム編集の光と闇	青野由利	筑摩書房
4	教え学ぶ技術	刈谷剛彦	筑摩書房
5	日本の地方議会	辻嶋	中央公論新社

お知らせ

北大新聞のメンバーが執筆した記事が9月4日付の北海道新聞「道新 夢さぼ」に掲載されました。

情報求む

話題の学生・教員、ユニークな取り組み——
北大に関するあらゆる情報を募集しています
メール⇒hokudaishinbun@gmail.com
またはウェブサイトの contact へ

※いただいた情報を活用できない場合もあります。あらかじめご了承ください。

THE MAINSTREET



Powered by 北海道大学新聞編集部